



たから

守られる命

右の写真は、外江小学校のしらおの森の桜の木です。木の中が空洞になり、このままでは危険な状態でした。地域の方からもなんとか助けてほしいと話があり、この度補修工事をしていただきました。この場所で何十年も子どもたちと学校を見守ってきた木です。今年もみごとな花を咲かせていました。学校でも「地域の方々も大切にしておられることや、命の大切さについて」子どもたちに伝えました。これからのいろいろな人の思いに気づき、どんな命も大切にできる優しい子どもに成長して欲しいと思います。



これだけの大手術です。職人さん（プロ）の技術はさすがですね



「自己紹介タイム」
担任の先生も1年生も、三中は「はじめまして」です



ALTのアレックス先生は、手作り缶バッチをプレゼントして、先生方とコミュニケーション！

はじめまして

三中職員室の1年団のホワイトボードに生徒の「いいところみつめ」していきましょと書かれているのを目にしました。顔と名前を覚えるだけでも大変なのに、先生方は早く生徒一人一人のことを理解しようとしておられる姿に頭が下がります。まだ、ドキドキしながらの1年生ですが、すぐに新しい仲間とも仲良くなれそうですね。

地域に学ぶ

コミュニティ・スクールがスタートして2年。私は三中校区の3つの学校と渡地区と外江地区を往来しながら、学校支援ボランティアの方々と一緒に活動してきました。初めは何をどう動いたらいいのかわからず戸惑いもありましたが、自分の子どもが成人してしまった今、毎日のように学校に行けることが嬉しく、子どもたちとの活動はとても楽しいです。地域の方といろいろと話をするうちに、地域の方の学校を愛する思いも知ることができました。何もない所から子どもたちの為に地域に学校をつくり、当時のPTAは寄付集めなどをして学校に無い物を揃えたそうです。地域を盛り上げるために、祭りや地域行事にも尽力してこられました。コミュニティ・スクールでは、「目指す子どもの姿を共有して」とありますが、まずは、子どもたちが愛着を持てるような地域に、私たち大人がしていかなければならないと改めて思いました。



渡地区：晴れた日には大山がきれいです

三中の4階から見た景色です。三中はちょうど渡地区と外江地区の真ん中に位置しています。学校ができるまでの歴史を知るとおもしろいですよ。

文責：高梨 典子
(地域学校コーディネーター)



外江地区：島根半島が見渡せませす